

表一13 一般行政職の級別職員数の状況 (平成15年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な職務内容	主事補技師補	主事技師	主事技師	係長主任	課長補佐長査任主	課長補佐副主幹	課長幹	
職員数(人)	5	6	27	12	40	57	7	154
構成比(%)	3.3	3.9	17.5	7.8	26.0	37.0	4.5	100

表一14 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在 単位:人)

区分	職員数	増減	主な増減理由
一般行政部門			
議会	3	3	
総務	54	53	△1 職員配置の見直し
税務	11	10	△1 岩手県との相互交流による減
農林水産	19	19	
商工	4	3	△1 係の統合
土木	23	24	1 業務増
民生	39	40	1 業務増
衛生	16	16	
小計	169	168	△1
特別行政部門			
教育	42	40	△2 職員配置の見直し
消防	—	—	—
小計	42	40	△2
公営企業部門			
水道	10	10	
下水道	5	6	1 業務増
その他	6	6	
小計	21	22	1
合計	232	230	△2

表一15 定員適正化計画の数値目標と進捗状況【全職種】(単位:人)

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
目標の職員数	234	232	232	232	231	229
実際の職員数	230	230	232	230	—	—

表一9 時間外勤務手当

14年度	支給総額	42,244,000円
	職員一人当たりの支給年額	227,118円
13年度	支給総額	45,310,000円
	職員一人当たりの支給年額	243,602円

表一10 扶養・住居・通勤手当

**扶養手当**…配偶者は13,500円、配偶者以外2人まで1人6,000円。ただし、配偶者のない場合は1人目11,000円、3人目以降は5,000円。16~22歳の子は5,000円加算。

**住居手当**…持ち家は3,000円(新築、購入から5年間に限定)。借家などは、家賃23,000円まで12,000円との差額、差額が11,000円を超えるときには、超えた額の1/2(16,000円限度)に11,000円を加算。

**通勤手当**…交通機関利用者は運賃相当額(50,000円限度)。自動車使用者は3,600円から18,800円までの範囲で距離に応じて支給。

表一11 特殊勤務手当 (平成14年度)

職員全体に占める手当支給職員の割合	15.6%
支給対象職員の平均支給年額	13,681円
主な手当の名称とその種類	税務手当、行路死亡処理手当、犬猫死骸処理など9種類

表一12 特別職の報酬などの状況 (平成16年1月1日現在)

区分	給料・報酬月額	期末手当
町長	785,000円(706,500円)	6月期1.70月分 12月期1.60月分 計 3.30月分 (平成15年12月1日現在)
助役	617,000円(567,640円)	
収入役	583,000円(536,360円)	
議長	292,000円(285,000円)	
副議長	242,000円(236,000円)	
議員	226,000円(221,000円)	

※期末手当には国と同様に加算措置があります。

表一5 初任給の状況 (平成15年4月1日現在)

一般行政職 (大学卒)	決定初任給	山田町 171,500円 国・岩手県 171,500円
	採用2年経過	山田町 191,600円 国・岩手県 185,600円
一般行政職 (高校卒)	決定初任給	山田町 139,500円 国・岩手県 139,500円
	採用2年経過	山田町 155,000円 国・岩手県 149,200円

表一6 学歴別・経験年数別平均給料月額状況 (平成15年4月1日現在)

一般行政職 (大学卒)	経験年数10年	山田町 251,600円 岩手県 274,143円
	経験年数15年	山田町 296,900円 岩手県 362,756円
	経験年数20年	山田町 346,900円 岩手県 407,439円
一般行政職 (高校卒)	経験年数10年	山田町 223,300円 岩手県 220,425円
	経験年数15年	山田町 263,800円 岩手県 286,703円
	経験年数20年	山田町 304,700円 岩手県 357,932円

表一7 期末・勤勉手当の状況 (平成15年12月1日現在)

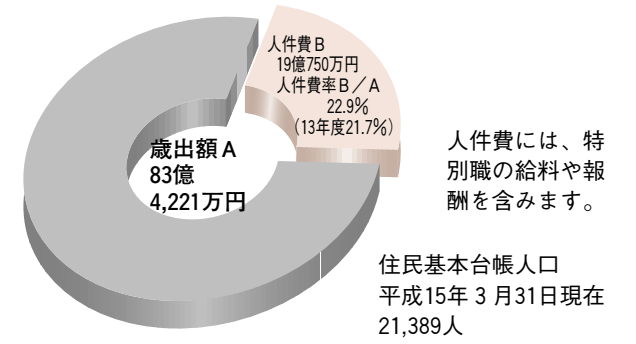
区分	6月期	12月期	計
期末手当	1.55月分	1.45月分	3.0月分
勤勉手当	0.7月分	0.7月分	1.4月分

※国と同様に職制上の段階・職務の級などによる加算措置があります。

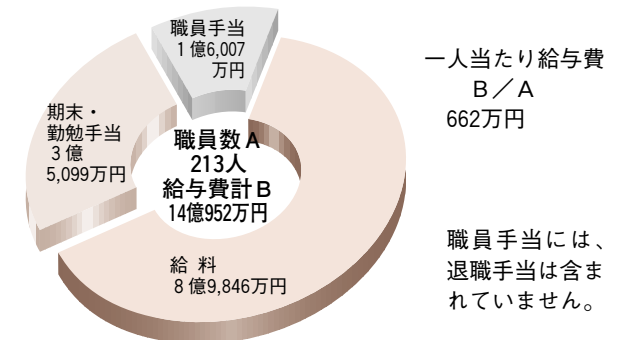
表一8 退職手当の状況 (平成15年4月1日現在)

区分	山田町	国	区分	山田町	国
自己都合	勤続20年	21.0月分	21.0月分	その他加算措置	定年前早期退職特別措置(2%~20%加算)
	勤続25年	33.75月分	33.75月分		
	勤続35年	47.5月分	47.5月分		
	最高限度額	60.0月分	60.0月分		
勲奨・定年	勤続20年	28.875月分	28.875月分	退職時特別昇給	1~2号俵
	勤続25年	44.55月分	44.55月分		
	勤続35年	62.7月分	62.7月分		
	最高限度額	62.7月分	62.7月分		1号俵

表一1 人件費の状況 (平成14年度一般会計決算)



表一2 給与費の状況 (平成15年12月31日現在)



表一3 平均給料月額と平均年齢 (平成15年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
山田町	347,225円	44歳00月
国	327,623円	40歳06月
岩手県	347,800円	41歳00月

表一4 ラスパイレス指数の状況【一般行政職】(平成14年4月1日現在)

区分	山田町	町村平均	市平均	県平均	岩手県
ラスパイレス指数	95.0	94.8	99.2	97.0	102.3

# 町職員給与の公表

町職員は、あらゆる分野の業務に携わりながら、町民の皆さんが快適に暮らせる町づくりの実現に向け働いています。職員には、一定の基準により給与が支給されていますが、ここでは町職員の給与や職員数などについて、町民の皆さんに理解を深めていただくため主要内容をお知らせします。



- ◆ **人件費の状況(表1)**  
平成十四年度に町職員と特別職(町長など三役、町議会議員、各種委員など)に支払われた人件費は、十九億七千五百万円。一般会計の歳出決算額の二二・九%に当たります。
- ◆ **給与費の状況(表2)**  
平成十五年一般会計予算には、一般職の給料や期末手当などの給与費として十四億九百五十二万円を計上しています。職員一人当たりの年間給与費は六百六十二万円です。
- ◆ **平均給料月額と平均年齢(表3)**  
一般行政職の平均給料月額と平均年齢を国、岩手県と比較したものです。
- ◆ **ラスパイレス指数の状況(表4)**  
ラスパイレス指数は、国家公務員の給料を一〇〇とした場合、各自治体の給与水準がどれくらいになるかを示す数値です。平成十四年四月一日現在、本町のラスパイレス指数は九五・〇。県内五十八市町村の中では指数の高い方から二十八番目、四十五町村の中では十五番目となります。なお、ラスパイレス指数は給与水準を示す一つの目安で、指数一〇〇を目標としているものではありません。
- ◆ **初任給と学歴・経験年数別平均給料(表5と表6)**  
初任給と一定年数を経過した時点の給料月額を学歴別に表したものです。表5は国・岩手県、表6は岩手県との比較です。
- ◆ **職員手当の状況(表7・表11)**  
▽ **期末・勤勉手当(表7)**…民間企業の賞与に当たるもので、支給割合は国と同じです。  
▽ **退職手当(表8)**…勤務年数に応じて支給。  
▽ **時間外勤務手当(表9)**…正規の勤務時間を超えて勤務した職員に支給。  
▽ **扶養・住居手当(表10)**…支給額は国と同じです。  
▽ **通勤手当(表11)**…自動車使用の場合は二キロ以上から支給。  
▽ **特殊勤務手当(表12)**…著しく困難な仕事や不快な仕事に携わった職員に支給。
- ◆ **特別職の報酬などの状況(表12)**  
特別職のうち町長や町議会議員などには給料(報酬)と期末手当が支給されます。地域経済の状況を踏まえ、町長は給料の一〇%、助役と収入役は給料の八%を減額。町議会議員も五千円から七千円の範囲で報酬を減額しています。実施期間は平成十六年一月から十七年三月まで。カッコンが減額後の金額です。  
※表7と表12の期末手当の支給割合は、平成十五年の給与改定後のもので、前年度と比べると、一般職が年間〇・二五、特別職が〇・二〇月の引き下げとなっています。
- ◆ **一般行政職の級別職員数の状況(表13)**  
一般行政職の職員に適用される「給料表」は、仕事の難易度や責任の度合いにより一級から七級に区分されています。
- ◆ **部門別職員数の状況(表14)**  
職員数の異動状況を示しています。
- ◆ **定員適正化計画の進捗状況(表15)**  
平成十二年度から十七年度までに五人、二十二年まで十八人の削減を目指します。